

お客様へ

- 施工は必ず専門業者へ依頼してください。
- 本取扱説明書は、大切に保管しておいてください。
- ご不明な点は、巻末に記載されている営業窓口へお問い合わせください。

施工業者様へ

- 施工前に本取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- 本取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

1.はじめにお読みください(正しく安全に使用いただくために)

本製品は、防火区画貫通部耐火措置工法部材です。それ以外の用途には使用しないでください。

■表示内容を見誤って誤った使い方をした場合に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分しています。

警告	取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重症を負う可能性があります。
注意	取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う可能性があります。

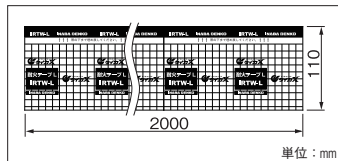
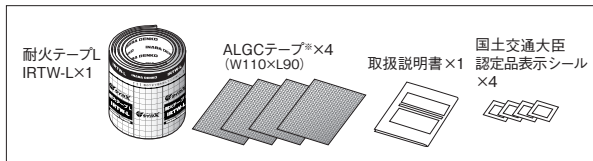
■お使いになる人や他の人へ危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

警告	国土交通大臣認定書及び(一財)日本消防設備安全センター評定書の仕様に基づき、正しく施工してください。 正しい施工を行わないと火災時に延焼のおそれがあります。 国土交通大臣認定書及び(一財)日本消防設備安全センター評定書については、右記のQRを確認してください。	 国土交通大臣認定書 (一財)日本消防設備安全センター評定書
注意	作業時は、作業用手袋などを着用してください。	

お願い	※下記が守られなかった場合、製品の想定する機能・性能が発揮されない可能性があります。 ● 配管の種類やサイズによって巻きつけ方が異なります。(右記のQRより適用範囲概要を確認してください。) ● 使用中の耐火テープは品質維持のため、次回使用まで元の箱に戻して保管してください。 ● 耐火テープの巻き付け位置は必ず守ってください。モルタルの埋め戻しは丁寧に、十分に密に充ててください。 ● 屋外で使用する場合は、紫外線、雨水などが当たらないように処置を施してください。 ● 区画貫通部で配管などが動かないように近傍でしっかりと固定してください。 不十分な場合は、耐火テープにズレが生じて耐火性能が発揮できません。	 適用範囲概要
------------	---	---

2.仕様

■ 製品構成



※ALGC(アルミガラスクロス)テープは、同仕様の市販品でも代用可能です。

■ 対応ポリエチレン管規格

規格名	規格番号
日本工業規格	JIS K 6761 / K 6762 / K 6774
国際標準化機構規格	ISO 4427
日本水道協会規格	JWWA K 144
建築設備用ポリエチレンパイプシステム研究会規格	PWA 001 / 005
配水用ポリエチレンパイプシステム協会規格	PTC K 03
給水用ポリエチレンパイプ協会規格	JP K 001など

■ 1巻当たりの施工箇所数(例)と適合ボイド管

(単位: mm)

呼び径	外径	被覆材*	適合ボイド呼び径 (参考開口サイズ)	施工箇所		
				モルタル埋め戻し	ロックウール充てん	シリコン系シーリング材
75	90	あり	175 (182)	4	—	4
		なし	125 (131)	5	5	—
100	125	あり	250 (258)	3	—	3
		なし	175 (182)	4	1	—
150	180	あり	300 (311)	2	—	2
		なし	250 (258)	3	—	—
200	250	あり	350 (362)	1	—	1
		なし	300 (311)	—	1	—
300	355	なし	— (455)	—	—	片側1 (両側施工のため2巻必要)
400	450	なし	— (550)	—	—	片側1 (両側施工のため2巻必要)

※被覆材厚さ: 25 mmで算出。

3. 標準施工方法(床)

1. 開口部の設置

- 配管サイズに応じて適正な占積率となるよう開口部を設けます。

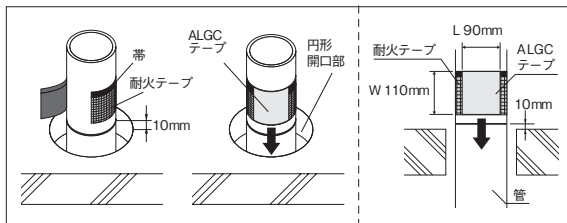
2. 配管へのマーキング

- 配管後に管に対して、床面(床)上から10mmの位置に印をつけます。

3. 耐火テープの巻き付け

- (1)管表面の埃・汚れを除去します。
- (2)配管外径にあわせて右表を参考にテープの長さをカットします。
- (3)帯がある方を上にして、配管に巻き付けます。
- (4)ALGCテープで耐火テープの端部を留めます。
- (5)耐火テープが床から10mm出るように、印が見える位置までずらしします。

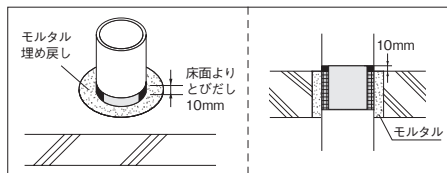
(単位：mm)



配管		長さ
配管種	配管外径	
配水用ポリエチレン管	180以下	1周+30以上
	250以下	2周+30以上
被覆材付 配水用ポリエチレン管	250以下	1周以上

4. モルタルの埋め戻し

- 耐火テープのとびだしが床面から10mmであることを確認し、開口部をモルタルで埋め戻します。



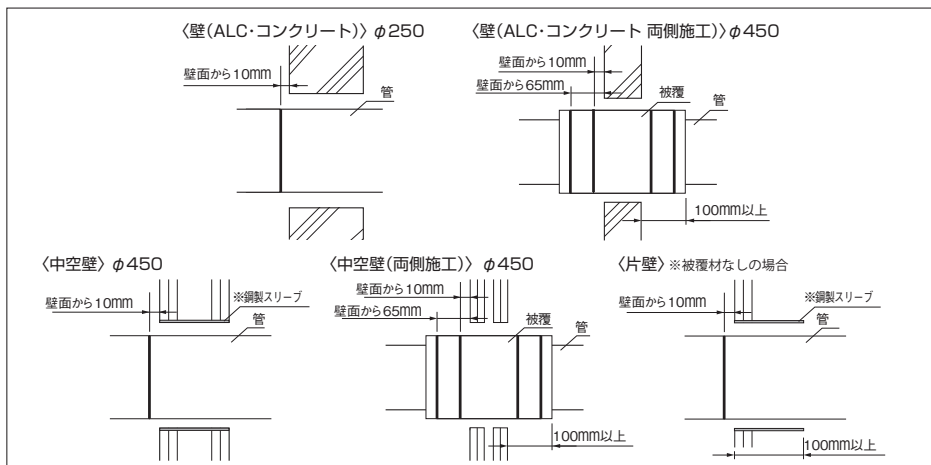
4. 標準施工方法(壁・中空壁・片壁)

1. 開口部の設置

- 配管サイズに応じて適正な占積率となるよう開口部を設けます。

2. 配管へのマーキング

- 配管後に管に対して、壁面から10mmの位置に印をつけます。
- ※両側施工の場合、壁面から10mmと65mmの位置に印をつけます。
- ※この線は、耐火テープのとびだしシロの印となります。壁に対してどちら側にとびだしても耐火性能上全く問題ありませんが、外壁貫通部にご使用の場合は、とびだしシロを屋内側にして紫外線、雨水などが当たらないようにしてください。



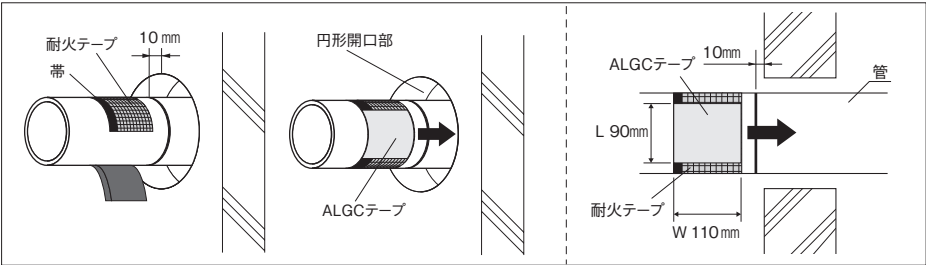
3. 耐火テープの巻き付け

(単位: mm)

- (1) 管表面の埃・汚れを除去します。
- (2) 配管外径にあわせて右表を参考にテープの長さをカットします。
- (3) 帯が見える向きで、配管に巻き付けます。
- (4) ALGCテープで耐火テープの端部を留め
- (5) ます。耐火テープが壁から10mm出るように、印が見える位置までずらしします。

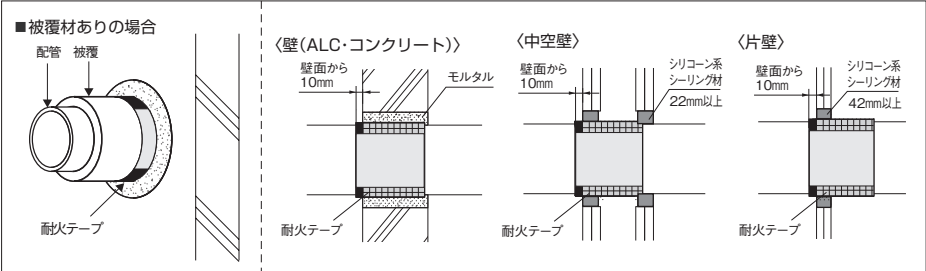
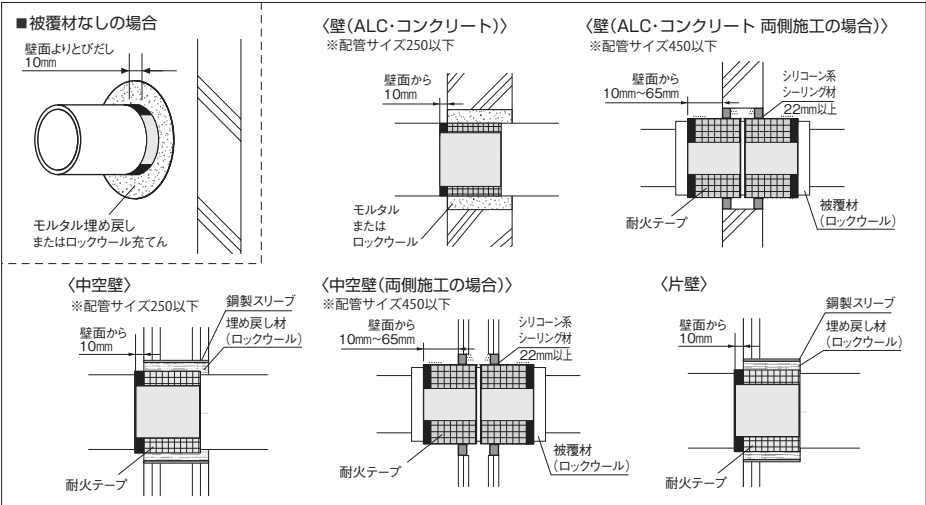
※両側施工の場合、耐火テープが壁から10mm～65mm出るようにずらしします。

構造	配管		長さ	施工
	配管種	配管外径		
中空壁 (ALC・コンクリート含む)	配管用ポリエチレン管	90以下	1周+30以上	片側施工
		250以下	2周+1/3周以上	
		450以下	1周以上	両側施工
片壁	被覆材付配管用ポリエチレン管	250以下	1周以上	片側施工
		125以下	1周+30以上	
		250以下	2周+1/3周以上	
壁 (ALC・コンクリート)	配管用ポリエチレン管	250以下	1周以上	片側施工
	被覆材付配管用ポリエチレン管	250以下	1周以上	



4. 埋め戻し

- 耐火テープののびだしが、認定内容通りであることを確認し、開口部をモルタル、ロックウール(120kg/m³)またはシリコーン系シーリング材で埋め戻します。
- シリコーン系シーリング材の場合は壁表面の両側から22mm以上(片壁の場合は42mm以上)埋め戻ししてください。埋め戻し部にすき間がないことを確認してください。



消防評定プレート・シールのご請求

消防評定プレート・シールをご要望の際は因幡電工 Web サイトよりご請求お願いいたします。

特定共同住宅等の壁・床（共住区画）でのご使用の際は、必ず消防評定品である旨の表示が必要となります。

（※プレートもしくはシールのどちらか一方のみで請求が可能です）国土交通大臣認定品表示シールのご請求ではありません。

（注）消防評定プレート・シールは、共住区画貫通に使用される場合のみご請求願います。

共住区画とは、消防法施行令別表第1（5）口項に規定されている「寄宿舍、下宿又は共同住宅」に適用されています。

<https://www.inaba-denko.com/ja/taflabel>

因幡電工 消防評定



【ご請求から発送までの日数】

平日：ご請求当日 15:00 までの受付で 3 営業日

土日・祝日・休業日：4 営業日

※発送日数は目安のため、お早目にご請求ください

※配送状況により時間がかかる場合がございます

<https://www.inaba-denko.com>



因幡電工カンパニー
因幡電機産業株式会社

INABA DENKO
Webサイト



INABA DENKO
営業所一覧

